

広報あつぎ

相川小学校
放課後子ども教室

文部科学
大臣表彰

しみずっ子すこやか
ネットワーク会議

編集・発行 / 厚木市政策部広報課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

子育てアドバイザー

子育て支えるまちへ



あつぎ 元気Wave
CATV 2/1~放送

穏やかな日々が差し込む児童館に、小さな子どもを連れられた母親たちが集まっています。「おはよう。今日も元気かな。子どもたちに声を掛けるのは、難波みどりさん(62・下荻野)。荻野地区で活動する子育てアドバイザーの一人です。

子育てアドバイザーは、市の講習会や研修会などで知識と経験を積んだボランティア。これまでに約300人が認定を取得し、地域の児童館などで育児の相談に乗りアドバイスをしています。

「お母さんたちには安心して子育てを楽しんでほしい」とほほ笑む難波さん。たくさん人の愛情が、地域の子育てを支えています。

☎ とも育成課 ☎ 225局2922

子育てアドバイザー講習会

日時 3月6・13日(全2回)、9時15分~17時
(13日は13時30分~)

会場 総合福祉センター

対象 市内在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方30人。託児あり(1歳以上10人。2月15日までに電話で予約。申し込み順)。

無料

☎ 2月26日までにとも育成課 ☎ 225局2922へ。抽選。ウェブ申 ☎ 120680 ※別途、保育所実習(半日)が必要。修了者に認定証を交付。

少しでも子育て家庭の力になりたいと、訪れる親子に声を掛け優しく見守る難波さん(右)


広がる 子育て支援

市では「子育て環境日本一」を目指し、さまざまな事業に取り組んでいます。家庭環境に応じて、制度を上手に利用しましょう。

子ども医療費助成

生まれてから中学卒業までの子どもの健康保険適用医療費の自己負担額を全額助成。県内トップクラスのサービスを提供しています。

【対象】 通院または入院をした中学卒業までの子どもで、市内に住民登録がある方。



紙おむつなどの支給

2人目以降の子どもを育てる家庭に紙おむつやお尻拭きなどを支給します。2人目は申請翌月から12カ月、3人目以降は2歳になる月までの生活をサポートします。

【対象】 ①2人目以降の児童を育てている②申請時に対象児童が0歳③申請時に出生や転入により対象児童の住民登録が市内にある④全ての要件を満たす方。

☎ とも家庭課 ☎ 225局2230

厚木の保育施設


市内の認可保育所は22施設。延長保育や一時預かりの他、病後児保育や休日保育、夜間保育を実施する施設もあります。家庭的な雰囲気の中で保育する家庭保育福祉員7人や「認定あつぎ保育室」12施設も運営されています。

☎ 保育課 ☎ 225局2231

認定こども園

市内4幼稚園で幼児教育と保育を総合的に提供する「認定こども園」を開設。市では、長時間保育利用料の一部を助成します。

☎ とも育成課 ☎ 225局2202




留守家庭児童クラブ

「仕事や病気などで放課後に子どもを預けたい」という家庭を支えるため、全小学校に公設児童クラブを設置。1~3年生を対象に、子どもたちの健やかな成長をサポートしています。

☎ とも育成課 ☎ 225局2582

子育て支援センター もみじの手

就学前の子どもたちが年齢に応じた遊びを楽しめるのが人気。パパ・ママの交流や保育士への育児相談もできます。【所在地】総合福祉センター5階(中町1-4-1)



目次

2面 「ごみと資源」に関する制度を改定

ごみの減量化・資源化を進めるため、廃棄物の処理などに関する制度を改定しました。

3面 寄付金の受け付けを終了

東日本大震災支援基金の受け付けを終了します。これまでに寄せられた寄付と支援の内容をお知らせします。

4・5面 子どもたちが輝く学び舎

自ら考える力を伸ばそうと、特色ある教育で子どもたちの成長を支える3つの小学校を紹介します。

6・7面 タウンガイド

催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

トピック 環境美化

「ごみと資源」に関する制度を改正 環境に優しいまちに

環境への負担が少ない循環型社会をつくるため、市では廃棄物の処理などに関する制度を改正しました。市民の皆さん、事業者、市の役割や、新たな処分の手数料などを規定し、4月1日から実施します。住みよいまちを目指し、ごみの減量化と資源化を進めます。

環境に優しい社会を目指し、市では3年前からごみと資源の分別回収を実施しています。市民の皆さんの日ごろの取り組みにより、平成20年に20%だった家庭ごみの資源化率が、23年には33%まで飛躍的に伸びています。一方、住む地域とは異なるごみ集積所に分別せずにごみを出すなど、解決が必要な問題も残っています。

ごみ集積所の場所を規定

ごみの減量化と資源化をより効果的

に進めるため、市では「市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例」と規則を改正し、新たに要綱を制定しました（施行は4月1日から）。これまで明確でなかった市民・事業者・市の役割を明文化。お互いの協力で、循環型社会の形成を目指します。

手数料を見直し

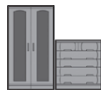
制度の改正では、粗大ごみに関する手数料も見直しました。これまで粗大ごみの手数料は実際に掛かる経費より安く、足りない分は税金で補われていました。しかし「出す頻度は人によって違うため不公平だ」という声も寄せられました。そこで、利用した人が処理に掛



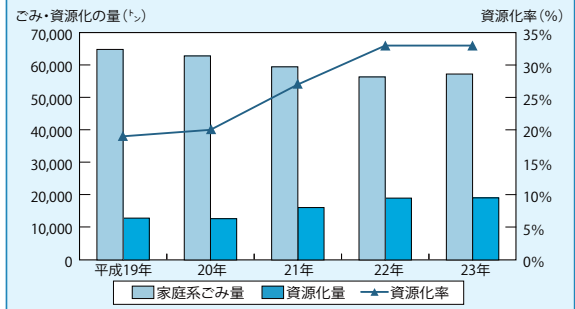
ごみ出して地域の触れ合いが深まることも

4月から変わる手数料

- 粗大ごみ（50cm以上）
施設搬入＝100円→300円
※戸別収集（500円）は変更ありません
- 特定粗大ごみ（新設）
戸別収集＝1,000円 施設搬入＝600円
特定粗大ごみ＝各辺の長さの合計が3m以上のたんす、ベッド枠、ベッドマット、食器棚、書棚、サイドボード、物置
- 事業系一般廃棄物
施設搬入＝20円→25円（1kg当たり）



家庭で出るごみ・資源化の量と資源化率の推移



地域をきれいに

市内の自治会では、地域をきれいにしようと定期的に美化清掃を実施しています。不法投棄の撲滅やポイ捨て禁止を訴える看板を設置するなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

「以前に比べ、地域の皆さんの意識が高まってきている。旭町二丁目自治会で環境美化部長を務める三浦広さん（80）は、そう実感しています。同自治会では月に3回ほど地域の見回りを実施。「ごみが発生している」と連鎖的に捨てられてしまう。そうさせない環境づくりが大切」と、生活環境の向上に努めています。

きれいな地域にしていきたいためには一人一人の協力が欠かせません。環境に配慮し、みんなで住みよいまちをつくっていきましょう。

環境総務課 ☎25局2780

ひとまち元氣



市長 小林 崇良

平成25年のテーマは「総力」

私たちの念願でありました「さがみ縦貫道路」が、地域の皆様のご協力により、いよいよ3月に開通します。市では開通に合わせて、3月24日（予定）にさがみ縦貫道路をみんなでウォーキングするイベントなどを盛り込んだ記念事業を開催します。多くの皆様と一緒に開通をお祝いし、厚木の元気を全国に発信したいと思っております。皆さんから大きな関心が寄せられている「仮称」あつぎ元氣館は、今夏に改修工事に着手し、来年春のオープンを目指してまいります。市民の皆さんに愛され、誇りに思っていただけの施設にしたいと考えていますので、ご期待ください。

私は、ことしの市政運営のテーマに「総力」を掲げました。市民の皆さんと協働し、総力を挙げて前に進んで行くという決意を新たにしたいところです。職員一人一人が持つ最大限の力を結集し、「創意」と「工夫」、新しい発想と確固たる信念で「元氣なあつぎ」の実現を目指します。

寄せられた善意

【平成23年6月22日~平成24年12月31日】

寄付額 33,113,904円



県会からの寄付の様子

- ◆これまでに支援した総額 **30,000,201円**
- ◆差額(これから活用する額) **3,113,703円**
- ※基金運用料2,200円を除く

トピック
被災地支援

3月29日で寄付金の受け付けを終了 東日本大震災支援基金

市では、皆さんからの寄付金を基金として積み立て、被災地を支援してきました。震災から2年を迎えることや、国の復興予算も編成されたことなどから、寄付金の受け付けを終了します。これまでに実施してきた支援内容をお知らせします。

東日本大震災の発生後、市にはたくさんの寄付の申し入れがありました。皆さんの思いを確実に被災地へと届けようとして、平成23年6月に東日本大震災支援基金を設置。被災地からの要望に応えるため、基金を活用しさまざまな支援を実施してきました。

本場に必要なた物資を支援

基金には、市民や企業、団体などからおよそ3千3百万円の寄付金が寄せられました(左上参照)。基金を活用して支援を実施したのは、宮城県石巻市と若手県釜石市、大船渡市の3市です。市長が現地を訪問したり、現地に派遣している職員から話を聞いたりして被災地の状況を把握。的確な支援ができるよう努めてきました。支援物資はこれまで大きく4回に分けて発送。復興の状況と合わせ、テントやごみ箱、子どもたちが使う運動器具など、さまざまな物資を届けてきました(左下表参照)。

届いた「ありがとう」の言葉

「大船渡中学校女子テニス部です。私たちは震災でコートが使えなくなりました。でもこうして笑顔でテニスができるようになりました。ありがとうございました。」

基金を使いテニスコートの整備用具を支援した中学校からは、生徒たちの写真を貼った寄せ書きが送られてきました(左写真)。寄せ書きには、支援に対する生徒たちの感謝の気持ちがこめられています。

皆さんが寄付に託した復興への思いは、確実に被災地へと届いています。

震災の記憶を忘れない

基金は、3月29日で寄付の受け付けを終了し、6月末で廃止します。まだ

神奈川県厚木市民のみなさま

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達厚木市市民です。震災で被災された方々に、少しでもお役に立てるよう、お力になりたいです。お返事はいたしませんので、よろしくお願いいたします。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

私達大船渡中学校女子テニス部です。手運ば震でコートが使えなくなりました。でもこうして、復興でテニスができるようになりました。ありがとうございました。

基金を使って整備されたテニスコートで練習する生徒からの寄せ書き

東日本大震災支援基金を活用した支援内容

- 宮城県 石巻市**
テント5張/市で使用していた公用車/収集用ごみ箱50個/大型ストーブ12台/発電機67台/投光器67台/毛布750枚/大型エンジンポンプ4台
計15,784,107円
- 岩手県 釜石市**
テント5張/収集用ごみ箱50個/大型ストーブ12台/投光機(発電機付き)2台/街路灯62台/ソーラーライト60台/折りたたみ椅子50脚(収納台2台)/テーブル20卓/ワンタッチテント4幕/自動体外式除細動器(AED)2台/発電機/ブランコ/うんてい/スカットボールセット/印刷機
計8,378,300円
- 岩手県 大船渡市**
テント5張/市で使用していた公用車/収集用ごみ箱50個/大型ストーブ12台/投光器(発電機付き)2台/催事用テント2張/ソフトテニスコート整備用具一式/周囲防球ネット/兼用・歩行芝刈り機
計5,837,794円

活用していない寄付金は、被災地の要望を確認し復興のために使用します。市では、厚木市内での震災に備える災害対策基金への寄付を引き続き受け付けています。震災の記憶を忘れず、いつ起こるか分からない災害に備えることが大切です。

たくさんの物資が被災地へと送られた

あつぎ飯山桜まつり“さくら輿”参加者募集

あつぎ飯山桜まつりの名物の一つ「さくら輿」。女性だけの華やかなみこしを担いでみませんか。担ぎ方などは熟練者が丁寧に教えますので、ぜひお気軽にご参加ください。

【対象】高校生以上の健康な女性15人程度
【日時】4月7日、10時30分~
【場所】庫裡橋~あつぎ飯山桜まつり会場
【謝礼】1人3,000円

●3月29日までに市観光協会(本厚木駅観光案内所)へ。 ●市観光協会 ☎228局1131

満開の桜の下を練り歩いた昨年のさくら輿

特集

自らの力で考え、活動する

子どもたちが輝く学び舎

市内の小学校で元気に生き生きと学ぶ子どもたち。考える力や自主性を伸ばそうと、各学校ではさまざまな活動が展開されています。今回は、特色ある教育で子どもたちの成長を支える3校の取り組みを紹介します。

園学校教育課 2階 2660



1時間目
身近な川を守る
相川小学校

2時間目
命の大切さを共有
清水小学校

3時間目
全校で取り組むエコ活動
戸田小学校

「ここは川原があるという相川小学校に、その名がつけられた1枚の地図があります。花壇に中洲、橋の先に広がる秘密基地と夢いっしょの地図。この地図が描かれた背景には、子どもたちのカワラノギク保護活動がありました。」

●保護から学んだこと

国の絶滅危惧種に指定されているカワラノギク。4・6年生18人組織する栽培委員はこの植物を育てよう。昨年4月に地域のボランティア団体と一緒に活動を始めました。学校のすぐ隣にある河原で、種まき水やり、草取りを継続的に実施。努力が実を結び、カワラノギクは1月に見事な花を咲かせました。活動を通じて、児童たちはカワラノギクの育成には良好な河川環境が欠かせないことを学びました。それなら学校全体で河原の保全に取り組もう。栽培委員会は朝礼の場で「河原にあったらいいもの」を絵にしようと全校児童に呼び掛けました。集まった34枚の絵を基に、委員会メンバーは理想の河原に必要なものを話し合います。11月、児童たちのアイデアが詰まった1枚の地図が出来上がりました。

●川を守り続けたい

完成した地図を手に、委員会メンバーは市役所訪問。担当する職員を前に理想の河原を発表しました。栽培委員会の委員長、園井良さん(6年)は「下級生にも河原を考える取り組みを続けてほしい」と願います。栽培委員会を受け持つ黒岩美琴先生(29)は「学校や教師はきっかけを与えただけ、子どもたちが自ら行動する力ができた」と活動の成果を話します。

エコスクールとは??
世界で約38,000校が取り組む環境学習プログラム。課題の決定と実行、検証などを児童が主体となって進める。市内では、緑ヶ丘小、依知小、小鮎小、戸田小、相川小が取り組み校となっている。

●本来の自然を再現

再認証に向け、新たに始めたのがピオトープの保護。観察活動です。子どもたちが自然を大切に育てる心を育んでもらうと、校内にあった光を平成23年に整備。川から石を運び、在来種の植物を植えるなど、自然環境づくりに努めました。ピオトープとは「命の場所」を意味する言葉です。動植物が住みやすい環境を目指し、6年生が管理を担います。池には「ジョウヤクサン」など外来種育成状況や生態系を学ぶ外來種がいらないかを確認するため、定期的に観察を続けています。

●校内に広がる影響

「アメリカカリガニを池に放

インターナショナルセーフスクールとは??
WHO(世界保健機関)セーフコミュニティ推進協働センターが、より安全な教育環境づくりを目指す学校に与える国際認証。清水小は平成22年11月に認証を取得している。認証期間は3年。

●関心を高めるために

キャラクターを使った活動を考えては、環境委員会と野菜作り同好会の児童たちです。みんな環境への関心を持ってもらおうと、全校からキャラクターを集め、集まった154点の中から環境問題に取り組むキャラクター「エコリジャー」が誕生しました。オーティション形式で選ばれたメンバー4人は、緑(緑化)、青(節電)、黄(節電)、紫(ごみ減量)、ピンク(花いっぱい)のテーマに沿ってキャラクターを演じ、「エコ活動」に取り組んでいます。

●食べ物を大切に

戸田小では、児童たちによる野菜の栽培にも力を入れています。1・6年生約70人がかまの野菜作り同好会を中心に、全校児童と季節野菜やナス、ダイコンなど季節の野菜や花を栽培しています。収穫された野菜は、学校や地域の祭りなどで販売。昨年3月には「公民館まつり」での売上金を植林活動に取り組みNPO法人に寄付しました。豊かな森づくりに役立ててほしいという子どもたちの考えです。

運動会に、手合いを買って出る児童たちが学校中から集まるようになったのです。たくさん参加してくれてうれしい。もっと

環境や食について考え、積極的に活動する子どもたちは、心身ともに大きく成長しています。



ピオトープ5つのやさしさ

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	

①夢の河原を語る相川小の児童たち
②満開のカワラノギク
③1年生にピオトープを教える6年生
④清水小のピオトープには5つの決まりがある
⑤ピオトープの水辺で観察する児童たち
⑥エコキャップの分別には大勢の児童がボランティアで参加
⑦全校児童に取り組みを伝える戸田小の環境コーナー
⑧育てた野菜は漬物にも加工



トナーセンター。歯周病と予防について歯科医師が講演。市内在住の方80人。無料。☎3月8日までに健康づくり課☎225局2201へ。抽選(落選者のみ電話連絡)。ウェブ申☎120691

**貧血予防教室
～鉄分補給で元気アップ!**

3月8日、13時30分～15時30分。パートナーセンター。医師の講演と管理栄養士の話。市内在住の方80人。無料。☎3月4日までに健康づくり課☎225局2201へ。抽選(落選者のみ電話連絡)。ウェブ申☎120697

**ファミリー・サポート・センター
提供会員を募集**

地域で育児の手伝いをする提供会員を募集します。

《対象》市内在住で、子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができる方。☎こども育成課、公民館にある入会申込書に証明写真2枚を添えて2月26日までに直接ファミリー・サポート・センター(総合福祉センター5階・☎225局2933)へ。3月6・13日、9時15分～17時(13日は13時30分～)に総合福祉センターで講習会を実施。託児あり(1歳以上10人。2月15日までに要予約。申し込み順)。育児援助(有料)を希望する依頼会員も随時募集。公募☎320021

災害時通訳ボランティアの募集

災害時に日本語の理解が困難な外国籍市民に通訳をするボランティア登録者を募集します。

《研修会》3月16日、14時～16時。パートナーセンター。受講後にボランティアとして登録。☎市ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を書き、2月25日(必着)までに直接または郵送、ファクスで〒243-0018中町1-4-3人権男女参画課☎225局2215・☎223局8432へ。公募☎320013

**市民ふれあいマーケット
出店者募集**

3月10日(雨天の場合は3月17日)、10時～14時。厚木中央公園。家庭で不用になった物の販売。市内在

住(高校生以下は不可)の方130店舗。500円。☎往復ハガキに〒住所、氏名(参加者全員)、電話番号(日中に連絡が取れる番号)、販売品目、自動車使用の有無(使用の場合は車種とナンバー)、返信先を書き、2月15日(消印有効)までに〒243-8511環境総務課内市民ふれあいマーケット実行委員会へ。記入漏れ、複数応募は無効。☎環境総務課☎225局2780。☎120091

**JAあつぎ農業塾基礎・応用
コース受講生募集**

《実施日》3月19日～12月11日の火曜(12月11日のみ水曜、全20回)《受講料》15,000円(農業・肥料代など)《対象》市内在住の方29人。☎2月7・8日、9時～16時30分に直接JAあつぎ地域農業対策課☎221局2273へ。抽選。☎220019

JAあつぎ市民農園利用者を募集

《募集農園》A山際=5区画、B三田=6区画、C三田=6区画、D小野=10区画、G温水=4区画、H飯山=1区画《面積》1区画16.5㎡(Hは33㎡)《使用料》5,000円(Hは8,000円)《利用期間》3月1日～12月31日。☎JAあつぎ本所・支所(店)にある申込書(2月12日から配布)に必要事項を書き、直接または郵送で2月15日(消印有効)までに〒243-0004水引2-10-38JAあつぎ地域農業対策課☎221局2273へ。抽選。公募☎320022

環境みどり公社臨時職員募集

《対象》心身共に健康な18～64歳の方若干名《内容》施設管理などの業務《期間》4月1日～平成26年3月31日《場所》環境みどり公社、ぼうさいの丘公園、中町立体駐車場《給与》時給893円～。詳細は市役所本庁舎、公民館、環境みどり公社(長谷626-1)にある募集要項を確認してください。☎市販の履歴書に写真を貼り、2月8日までに直接環境みどり公社☎225局2773へ。書類選考の後、面接あり。

文化芸術振興基金に寄付を

文化芸術振興基金は、文化芸術

あつぎ元気Wave 2月の広報番組ガイド

2月1日～10日 ◆子育てアドバイザー
地域で子育て支援をする子育てアドバイザーを紹介。

2月11日～20日 ◆「体感治安」の改善に向けて
まちの治安を守るパトロールの様子などをレポート。

CATV放送時間(15分)
①12時～
②19時30分～
③22時45分～

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

事業の財源として活用しています。鑑賞の機会や人材育成などを充実させるため、市の文化芸術を振興する基金に寄付をお願いします。☎生涯学習課☎225局2510。

本厚木駅連絡所臨時休業

2月19日は駅ビルの電気点検に伴い、証明発行などの連絡所業務を休業します。お急ぎの方は、市民課、愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター連絡所をご利用ください。☎市民課☎225局2110。

中小企業活性化推進月間

県では2月を「神奈川県中小企業活性化推進月間」と定め、県や関係機関が実施する中小企業への支援を集中的に展開します。☎県中小企業支援課☎045-210局5558。

第12回市バウンドテニス選手権大会

2月17日、9時30分～。荻野運動公園(中荻野1500)。男女シングルス・ダブルス。市内在住在勤在学の方。1種目1,000円(協会員は500円)。☎ハガキ、ファクスに〒住所、氏名、電話番号、参加種目を書き、2月15日(必着)までに〒243-0023戸田1449-11市バウンドテニス協会・川井☎☎228局7360へ。

市の表彰

広報あつぎ1月15日号で紹介した皆さんに合わせて、次の方が表彰されました(順不同・敬称略)。

- 《スポーツ表彰》
野球▶成田佑介、矢後颯太
ソフトテニス▶安部達哉、飯田達朗、飯塚智崇、加藤君子、切山紘弓道▶渡邊雄大
バドミントン▶江頭桜空、武藤映樹
空手▶高梨航平
☎秘書課☎225局2001

**みんなの声で
つくるまち**

《意見交換会》

◇公共施設の最適化基本方針及び中心市街地の公共施設再配置計画について

2月9日、10時～11時30分。市役所本庁舎。☎当日直接会場へ。☎企画政策課☎225局2450。

《パブリックコメント》

●厚木市指定NPO法人制度案
《閲覧期間》2月1日～3月4日。

☎〒243-8511市民協働推進課☎225局2141・☎225局4612・e-mail=2800@city.atsugi.kanagawa.jp

閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ。応募資格は、市内在住在勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体。応募は、閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで問い合わせ先へ。

**あつぎ健康相談
ダイヤル24**

24時間年中無休

相談(健康・医療・介護・育児・メンタルヘルス)・医療機関情報

さわやか1番 よいこころ
0120-31-4156

医療機関を受診する前に電話で相談を
☎発信者番号は通知設定でお掛けください
☎厚木市救急テレホンサービス☎223局1000は、本サービスに変わりました

2013 ちびっこマラソン & 駅伝競走大会を開催

《日程》3月3日(雨天中止)《マラソン》1*。親子の部=小学1・2年生と保護者の2人1組。1*。の部=小学3・4年生。1.5*。の部=小学5・6年生《駅伝》1区=1.42*。2区=1.18*。3区=1.18*。4区=1.12*。(計4.9*。)。監督(責任者)1人、登録選手6人まで(走者は4人)《対象》マラソン=市内在住の小学生、駅伝=市内在住の小学3年生以上(100組。申し込み順)《参加費》無料

☎スポーツ課、スポーツ施設、公民館などにある申込書(市ホームページからダウンロード可)を直接または、郵送ファクスで2月13日(必着)までに〒243-8511スポーツ課☎223局0044へ。
☎スポーツ課☎225局2531




あつぎ飯山桜まつり ウェブ申☎120698

ダンスコンテスト参加者募集

厚木市の春を彩る「あつぎ飯山桜まつり」で、2日間にわたりダンスコンテストを開催します。満開の桜の下で、自慢のダンスを披露しませんか。

《ジュニア(中学生以下)の部》3月30日、12時30分～《一般の部》3月31日、13時～《会場》飯山白山森林公園・桜の広場ステージ《対象》各部2～30人程度のグループ20組(小学生以下の参加は引率者が必要)《内容》ヒップホップ、フリースタイル、フラダンス、よさこいなど自由《演技時間》1組5分以内《参加費》1組1,000円《賞金》各部優勝3万円、準優勝2万円、3位1万円

☎電話またはハガキ、ファクス、Eメールにチーム名、人数、代表者(引率者)の氏名、年齢、〒住所、電話番号、Eメールアドレス、ダンスの内容を書き、2月20日(必着)までに〒243-8511観光振興課☎223局0174・e-mail=3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。
☎観光振興課☎225局2820



さまざまなダンスが会場を盛り上げる

タウンガイド

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2						1	2
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30
							31						

マイタウンクラブ
 印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧ください。「ウェブ申」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
 www.mytownclub.com
 [携帯電話は末尾に/cpを]

国際サロンの開催

2月10日、14時～16時。パートナーセンター。外国籍市民との交流会と起震車体験（日本語での会話も可、起震車は雨天中止）。茶菓子1品または100円持ち寄り。当日直接会場へ。入場料225局2215。ウェブ申220014

2月青春劇場スケジュール

2日＝唄う！青春劇場カラオケ大会。17時～18時。定員100人。入場料1,000円。9日＝青春のパフォーマンス。13時～14時。定員70人。入場料300円。23日＝あつぎ青春劇場落語会（出演：笑福亭べ瓶）。11時～12時30分。定員50人。入場料500円。いずれも会場はイオン厚木店8階。商業にぎわい課225局2840。

植物スライド映写会 厚木周辺の花めぐり

2月17日、13時30分～15時30分。郷土資料館。身近な植物を写真で楽しく紹介。無料。当日直接会場へ。

場へ。郷土資料館225局2515。ウェブ申120560

市指定文化財あつぎ古民家岸邸の雛まつり

2月20日～3月17日。10時～15時（月・火曜、第1水曜は休館）。古民家岸邸（上荻野792-2）。古民家に飾られたひな人形を楽しむ。無料。当日直接会場へ。郷土資料館225局2515。ウェブ申120657

森林セラピー基地案内人とのハイキングと温泉

《七沢会場》2月13日、9時30分～15時。東丹沢七沢観光案内所（七沢751-1）集合。見城ハイキングコースと温泉を楽しむ。《飯山会場》2月19日、9時30分～14時30分。飯山温泉ふるさとの宿（飯山5547）集合。飯山白山森林公園と温泉を楽しむ。いずれも定員は20人。1,000円（入浴料含む）。弁当、レジャーシート、タオル（入浴用）をお持ちください。雨天中止。それぞれ前日までに東丹沢七沢観光案内所へ。

248局1102へ。申し込み順。

健康づくり大学

《飯山》2月7日、9時30分～14時30分（2月6日まで）。飯山温泉美登利園（飯山5157）集合。飯山温泉郷周辺での運動と旅館での食事・入浴。《七沢》2月20日、9時30分～14時30分（2月13日まで）。東丹沢七沢観光案内所集合。東丹沢七沢温泉郷周辺でのノルディックウォーキングと七沢温泉盛楽苑での食事・入浴。いずれも定員は40人。3,000円（食事、入浴料）。各期日までに東丹沢七沢観光案内所248局1102へ。申し込み順。

親子ふれあい自然体験教室

3月9日、9時～15時。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。野外炊事と自然観察を通じて触れ合いを深める。市内在住の家族10組（直接5人まで）。1人600円。電話またはファクスに〒住所、参加者全員の氏名、大人・子どもの人数、電話番号を書き、2月15日までに七沢自然ふれあいセンター248局3500・FAX248局4708へ。抽選。ウェブ申120704

あつぎ地域SNS体験講座

2月23日、13時40分～15時50分。情報プラザ（岡田3050）。「あつぎ地域SNS」でブログ投稿・閲覧を体験。マウス操作・文字入力などができる16歳以上の方17人。無料。電話またはハガキ、ファクスに〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号を書き、2月11日（必着）までに〒243-8511情報政策課225局2459・FAX225局3732へ。抽選。ウェブ申600143

普通救命講習会

3月19日、13時30分～16時30分。消防本部。応急手当での必要性、心肺蘇生、大出血時の止血法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上の方30人。無料。2月7日までに救急救命課223局9365へ。抽選。ウェブ申110943

勤労福祉サービスセンターの講座 資産運用セミナー

3月1日、19時～21時。勤労福祉センター。資産運用を始めるポイントの講義。市内在住在勤の方20人。無料。ウェブ申120700

「自力整体」体験講座

3月6日、19時～21時。勤労福祉センター。骨格バランスを整える方法を学ぶ。市内在住在勤の成人の方15人。2,000円。ウェブ申120695

ガラスアート教室

3月9日、13時30分～16時。厚木ガラススタジオ（妻田北2-13-8）。吹きガラスとトンボ玉を作る。市内在住在勤在学で18歳以上の方8人。5,500円。ウェブ申120701

年金セミナー

～ゆとりある老後生活を考える～ 3月16日、14時～16時。勤労福祉センター。公的年金制度の仕組みや老後のライフプラン設計を学ぶ。市内在住在勤の成人の方15人。無料。ウェブ申120706

いずれも申し込みは、電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月15日までに勤労福祉サービスセンター225局2547・FAX227局5405へ。抽選。

市斎場施設見学会

2月17日、①9時30分～②11時～③13時30分～。市斎場（下古沢548）。現地集合。施設の見学と葬儀の説明。終了後、「市民の葬儀プラン」の個別相談も可。定員各回50人。無料。2月1日～14日に市斎場281局8595へ。申し込み順。

カラダ年齢が返る～サビない体のづくり方～

3月14日、18時30分～20時。ヤングコミュニティセンター。生活習慣病を予防する運動やマッサージなど。市国民健康保険に加入している40歳未満の方20人。無料。2月28日までに国保年金課225局2120へ。抽選。ウェブ申110673

歯と歯ぐきの健康教室わっ歯っ歯

3月14日、13時30分～15時。パー

新しい市民農園がオープン ウェブ申320023
市ファミリー農園利用者募集

4月から新規オープンする市民農園の利用者を募集します。気軽に野菜作りを始めませんか。

《農園》下川入ファミリー農園
 《面積》30㎡(27区画)、60㎡(12区画)
 《期間》4月1日～平成27年2月28日
 《管理料》30㎡＝550円、60㎡＝1,100円(1カ月当たり)
 《対象》市内在住在勤在学の方（1世帯1区画）

ハガキ、ファクスに〒住所、氏名、電話番号、農園名、面積を書き、2月20日（必着）までに〒243-8511農業振興課223局0174へ。抽選。
 農業振興課225局2800

第40回 相模人形芝居大会 無料

江戸時代に県内に伝わり、現在も傳承されている相模人形芝居5座が一堂に会し、伝統の技を披露します。今回は40回を記念して、徳島県から阿波人形浄瑠璃「平成座」の招待公演も実施します。ぜひご来場ください。

《日時》2月17日（日）12時～（11時30分開場）
 《場所》文化会館 小ホール（定員350人）
 《演目》
 徳島県 徳島市 徳島市 徳島市 徳島市
 傾城阿波の囃門 順礼唄の段（足柄座・南足柄市）
 壺坂観音霊験記 山の段（下中座・小田原市）
 伽羅先代萩 政岡忠義の段（長谷座・厚木市）
 恋女 房染分手綱 重の井子別れの段（阿波人形浄瑠璃 平成座・徳島市）
 生写朝顔話 宿屋から大井川まで（林座・厚木市）

当日直接会場へ。文化財保護課225局2509

3人で1体の人形を操る

輝く個性・感性・創造力

コンクールの受賞者発表

夏休みの各種コンクールに子どもたちの個性あふれる力作が寄せられました。主な入賞作品を紹介します。(敬称略)

ごみ減量リサイクル標語

環境総務課 ☎225局2780

- ◆小学生低学年の部
市長賞「リサイクル おほえてほくも おてつだい」 小山永翔(上狹野小1年)
会長賞「『のこさず食べる』 ほくらにできる ゴミ減量」 佐藤敢太(清水小3年)
教育長賞「ゴミわけは ほくにもできる おしごとだ」 大坪一輝(鷹尾小1年)
- ◆小学生高学年の部
市長賞「なまごみの 水をよくきり ゴミ減量」 永井楓花(鷹尾小5年)
会長賞「ごみを手に『捨てていい?』と もう一度」 谷井ちひろ(毛利台小5年)
教育長賞「考えよう 買わないことも エコになる」 本多由佳(飯山小4年)
- ◆中学生の部
市長賞「エコ未来 あなたの良識 問われてる」 坂上舞(小鮎中2年)
会長賞「考えよう 捨てる道より 使う道」 石井雅士(依知中2年)
教育長賞「その生ゴミ しぼればしぼるほど ゴミが減る」 岡部汐音(依知中1年)

ごみ収集車 イメージアップ絵画

環境事業課 ☎225局2793

- 市長賞
八木美雛(相川小5年)
- 教育長賞
三木洋亮(南毛利小4年)

こども科学賞

図学校教育課 ☎225局2675

- ◆小学生の部
大賞
「タンポポのひみつ」三浦花梨(厚木第二小6年)
優秀賞
「衝突の実験」 関口大輝(上狹野小6年)
- ◆中学生の部
大賞
「砂山の研究」 中嶋継(玉川中2年)
優秀賞
「紙をまっすぐに落とす方法」 眞和田香織(相川中3年)

ごみ減量リサイクルポスター

環境総務課 ☎225局2780

- ◆小学生低学年の部
市長賞
菱沼大悟(玉川小1年)
会長賞
秋田愛絵(毛利台小2年)
教育長賞
大和志帆(森の里小3年)
- ◆小学生高学年の部
市長賞
増田知里(妻田小6年)
会長賞
小山内修斗(妻田小6年)
教育長賞
池田雅(鷹尾小6年)
- ◆中学生の部
市長賞
伊藤由莉愛(小鮎中3年)
会長賞
高尾咲妃(小鮎中3年)
教育長賞
水上知(東名中2年)

防火ポスター

図予防課 ☎223局9371

- 特選
- 芳尾和雅(依知小1年) 奥田寧々(南毛利小2年) 芳尾侑実(依知小3年) 秋本英璃佳(毛利台小4年) 池谷菜月(愛甲小5年)
- 村山奈々星(戸田小6年) 船橋玲志(林中1年) 山根萌里(小鮎中2年) 深草まい子(睦合東中3年)

和田傳文学賞

図学校教育課 ☎225局2675

- 大賞
◆小学校1~3年生の部
「ぼくの大切な『なまか』たち」(作文) 千葉偲照(依知小3年)
◆小学校4~6年生の部
「たくさん『ありがとう』」(作文) 小路向日葵(森の里小6年)
◆中学校の部
「祖母の家匂いにつかし杉柱十五の母と背くらべする」(短歌) 鈴木千翔(林中2年)

あつぎ鮎まつり思い出絵画

図観光振興課 ☎225局2820

- 最優秀賞
山内亜美(南毛利小5年)
- 優秀賞
郡司陽詩(毛利台小1年) 杉井紀々果(厚木小2年) 大場美咲輝(戸室小3年) 四辻響太(厚木第二小4年) 有本悠花(三田小6年)

明るい選挙啓発ポスター

図選挙管理委員会 ☎225局2490

- 金賞
◆小学生の部
あなたの一票が 未来を育てる
船津遥(戸室小5年)
- ◆中学生の部
あなたの一票が 大事な一票
吉村麻希(厚木中3年)

青少年発明コンクール

図産業振興課 ☎225局2830

- 特賞「立ったままでぬげる」
小金大晃(南毛利小5年)
- 優秀賞「エコ・楽・水がえ」
鈴木希空(戸田小5年)
「速くかわくぞ!ハンガー」
中川正志(睦合東中3年)

ともしびポスター・絵本コンテスト

図社会福祉協議会 ☎225局2949

- ◆絵本の部
最優秀賞 毛利つづ美(三田小5年)
◆ポスターの部
ともしび大賞 梶田諒子(南毛利中3年)

文化財保護ポスター

図文化財保護課 ☎225局2509

- 入賞
◆わたしたちの文化財の部
次世代へつなげる文化財
花上太郎(荻野中2年) 吉岡壮太(荻野中2年) 大泉優剛(藤塚中2年)
- ◆世界遺産登録をめざす 武家の古都・鎌倉の部
文化財保護
小林賢祐(藤塚中2年)

人権作文・ポスター

図人権男女参画課 ☎225局2215

- ◆作文
市長賞
「『いじめ』って楽しいの?」
高橋良菜(睦合中3年)
教育長賞
「改めて考えた福祉」
坂上舞(小鮎中2年)
- ◆ポスター 人権擁護委員会会長賞
つなげれば 笑顔は
梶田諒子(南毛利中3年)